

A 三つの敬語の働き

基礎 | 全8問 | 目安12分

記述は解答例と同じ言葉でなくても、必要な内容と条件を満たせば正答です。

A1 敬語の分類

答え 尊敬語

解説 「言う」動作をする先生を立てる表現。

A2 敬語の分類

答え 謙譲語

解説 生徒の「聞く」動作をへりくだって表し、話を聞く相手である先生を立てる。

A3 敬語の分類

答え 丁寧語

解説 「です」は聞き手に丁寧に述べる言葉。

A4 動作主と向かう相手

答え 動作をする人：私（生徒）／向かう相手：先生

解説 生徒が持つ動作をへりくだって表し、荷物の持ち主である先生への敬意を表す。

A5 尊敬語への変換

答え おっしゃいました

解説 「おっしゃる」は「言う」の尊敬語。「ます」に続くと「おっしゃい」となる。

A6 謙譲語への変換

答え 拝見します

解説 「拝見する」は「見る」の謙譲語。作品を見せてくれる先生を立てる。

A7 敬語の組合せ

答え 前：尊敬語／後：丁寧語

解説 「いらっしゃる」は校長先生の動作を尊敬語で表し、「ます」は聞き手に丁寧に述べる。

A 三つの敬語の働き

基礎 | 全8問 | 目安12分 | つづき

A8 敬意の向かう人

答え ウ

解説 尊敬語で立てているのは、動作をする先生。聞き手の友達とは限らない。

B 場面に合う形への言い換え

標準 | 全8問 | 目安18分

B1 依頼の表現

答え ご覧になって

解説 「ご覧になってください」となる。「見る」動作をする先生を立てる。

別解・許容 「ご覧」も可。「ご覧ください」も適切な尊敬表現。

B2 謙譲語への変換

答え 伺います

解説 「聞く」の謙譲語「伺う」で、説明を聞く相手の先生を立てる。

B3 訪問の表現

答え 伺います

解説 「伺う」には、目上の人を訪ねる意味もある。ここでは訪ねる先の先生を立てる。

B4 丁寧語への変換

答え 明日は晴れます。

解説 動詞「晴れる」に丁寧の助動詞「ます」を付ける。内容や時制は変えない。

B5 尊敬語と謙譲語の混同

答え お待ちになって

解説 「お待ちする」は待つ側の謙譲表現。ここでは先生に待ってもらうので、尊敬表現にする。

別解・許容 「お待ち」も可。「お待ちください」も先生の動作を立てる依頼になる。

B 場面に合う形への言い換え

標準 | 全8問 | 目安18分 | つづき

B6 動作主に合う訂正

答え 拝見します

解説 作品を見るのは自分。自分の動作を尊敬語「ご覧になる」で高めず、謙譲語「拝見する」で表す。

B7 重なりの整理

答え おっしゃいました

解説 尊敬語「おっしゃる」に、尊敬の「れる」を重ねない形。「ます」は丁寧語なので併用できる。

B8 使い分けの説明

答え 前の文では見るのが先生なので尊敬語を使い、後の文では見るのが自分なので謙譲語を使って先生への敬意を表している。

解説 聞き手だけで決めず、誰が見るかを確かめる。後の文では、見せてもらう資料に関わる先生を立てている。

別解・許容 二つの動作主と敬語の種類が対応していれば、同じ言葉でなくてよい。

C 会話の中で敬意を確かめる

発展・応用 | 全8問 | 目安20分

C1 文脈に合う尊敬語

答え イ

解説 展示を見る先生を立てるため、「ご覧になりましたか」とする。「拝見する」は自分側の動作をへりくだる表現。

C2 文脈に合う謙譲語

答え エ。聞くのは生徒で、話を聞く相手が先生なので、生徒の動作をへりくだって先生を立てる。

解説 先生の話聞くのは生徒。「伺います」で、話を聞く相手の先生を立てる。

C 会話の中で敬意を確かめる

発展・応用 | 全8問 | 目安20分 | つづき

C3 動作主の読取り

答え (ア) : 講師の先生 / (イ) : 生徒

解説 同じ会話でも、見る動作は先生、聞く動作は生徒がする。

C4 謙譲語の働き

答え 資料を渡すのは生徒だが、渡す相手が先生なので、生徒の動作をへりくだって表すことで先生を立てられる。

解説 謙譲語は自分を低くすること自体が目的ではない。動作の向かう相手を立てる働きに目を向ける。

別解・許容 生徒の動作と「渡す相手」の先生への敬意の関係があれば可。

C5 敬語を含む文の判断

答え イ

解説 「お読みになる」は読む先生を立てる尊敬語。「お読みになっています」は、読んでいる状態を表す。

C6 尊敬語への訂正

答え おっしゃった

解説 「申す」は自分側の言う動作をへりくだって丁重に表す言葉。先生の言う動作には「おっしゃる」を使う。

別解・許容 「言われた」も可。文脈上、先生の動作に対する尊敬を表す。

C7 敬語の重なりと連結

答え 同じ一つの動作に尊敬語を重ねたのではなく、「読む」と「いる」という別々の語をそれぞれ尊敬語にしてつないでいるから。

解説 「お読みになる」と「いらっしゃる」をつなげた形。複数の敬語があるだけで一律に誤りとはいえない。

別解・許容 「読む」と「いる」を別々に敬語にしていることが分かれば可。

C 会話の中で敬意を確かめる

発展・応用 | 全8問 | 目安20分 | つづき

C8 場面に応じた表現

答え 先生、私の作品をご覧になってください。

解説 見る先生を立てる「ご覧になる」と、依頼の「ください」を使う。

別解・許容 「先生、私の作品をご覧ください。」「先生、私の作品をご覧になっていただけますか。」も可。
先生が見る動作を尊敬語で表し、丁寧な依頼になっていればよい。

D 敬語の確認テスト

定期テスト対策 | 全8問 | 目安20分 | 100点

D1 三種類の分類〔10点〕

答え 尊敬語／謙譲語／丁寧語

解説 「召し上がる」は先生の食べる動作を立て、「申し上げる」は自分の言う動作をへりくだり、「です」は丁寧に述べる。

採点 尊敬語3点、謙譲語3点、丁寧語4点。

D2 尊敬語の選択〔10点〕

答え イ

解説 来る先生を立てて「いらっしゃいますか」と尋ねる。

採点 正答10点。

D3 謙譲語への変換〔10点〕

答え 拝読します

解説 「読む」の謙譲語「拝読する」で、本に関わる先生への敬意を表す。

採点 正答10点。

D4 丁寧語への変換〔10点〕

答え 今日は風が強いです。

解説 形容詞「強い」のあとに「です」を付け、丁寧に述べる。

採点 意味を変えず「強いです」とした文で10点。句点の有無は問わない。

D 敬語の確認テスト

定期テスト対策 | 全8問 | 目安20分 | 100点 | つづき

D5 訂正と根拠 (15点)

答え 訂正：ご覧になりました。理由：見る動作をする人は先生なので、先生を立てる尊敬語で表す必要があるから。

解説 「拝見する」は自分側の見る動作に使う。動作主を確かめてから直す。

採点 訂正7点、動作主が先生であること4点、尊敬語で先生を立てる説明4点。

D6 敬語の組合せと働き (15点)

答え いらっしゃる：尊敬語／ます：丁寧語。先生の動作を立てる働きと、聞き手に丁寧に述べる働きが異なるので、一緒に使える。

解説 同じ働きの尊敬語を一つの動作に重ねたものではない。

採点 分類各3点、先生の動作を立てる説明4点、聞き手に丁寧に述べる説明4点、働きが異なるため併用できること1点。

D7 条件に従う書換え (15点)

答え 明日、先生にご相談します。

解説 「ご相談する」は自分の相談する動作をへりくだって表す形。「ます」で丁寧に述べる。

別解・許容 「明日、先生にご相談いたします。」も可。

採点 「ご相談する」の形8点、「します」または「いたします」による丁寧語4点、明日と先生への相談という内容を維持3点。

D8 敬意の相手と動作主 (15点)

答え 敬意を向ける相手：先生。話を聞く動作をするのは生徒であり、その話を聞く相手が先生なので、謙譲語で先生を立てている。

解説 会話の聞き手は友達だが、「伺う」で立てているのは話を聞いた先生。

採点 先生5点、動作主が生徒5点、話を聞く相手の先生を立てる関係5点。